

2021年度「初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰」 選定結果について

地理情報システム学会では、初等中等教育現場においてGIS（地理情報システム）を実践的に活用した授業の普及・展開の契機とするため、授業において先導的な取り組みを実践している教員やグループ*を対象とする表彰制度を2010年度に創設し、今年も事例を募集いたしました。（募集記事のHP掲載：2021年6月9日、募集期間：2021年7月1日から8月31日／主催：一般社団法人地理情報システム学会、後援：国土交通省、一般財団法人日本地図センター、ESRI ジャパン株式会社、一般社団法人人文地理学会、日本地図学会、公益社団法人日本地理学会、毎日新聞社）

※初等中等教育現場において、GISを実践的に活用した授業に取り組んでいる教員以外の方も含みます。

その結果、7件の応募があり、9月15日に地理情報システム学会、国土交通省、文部科学省から構成する審査委員会を開催し、表彰事例を選定しましたので、以下の通り報告いたします。（敬称略）

【国土交通大臣賞：総合的な観点】

- ・上田 聖矢（宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校）
「学校教育の様々な場面におけるGISの活用」

【地理情報システム学会賞：GISの効果的な活用の観点】

- ・山本 靖（新潟県立長岡大手高等学校）
「空間的推論を涵養するGISの取組ー「地理総合」を見据えてー」

【日本地図センター賞：地図の効果的な利用の観点】

- ・群馬県立尾瀬高等学校自然環境科（代表：松井透・荒井裕二）
「地域の自然環境を学ぶために地形図とGISを最大限に活用する」

【ESRI ジャパン賞：GISの教育的な利用の観点】

- ・石橋 生（桐蔭学園高等学校）
「地理総合に向けた防災教育の提案」
- ・山口県防府市大道地区 防災GIS活用研究会
（防府市立大道中学校・大道地区防災士協議会・一般社団法人やまぐちGISひろば）
「中学校の防災教育へのGIS活用と地域連携」

なお、受賞者は、2021年10月30日（土）～31日（日）にオンラインで開催される第30回地理情報システム学会研究発表大会に於いて開催される企画セッション（10月30日（土）8:30～10:30 <http://www.gisa-japan.org/conferences/index.html>）において表彰するとともに、事例発表をしていただく予定です。

当該セッションへの参加費は不要ですが、あらかじめ聴講参加のお申込みが必要です。

<https://forms.gle/dDDSarN1s3uZog2EA>

10月下旬をメドに、参加URLをご案内いたします。

なお、当学会設立30周年記念講演を挟んだ当日（10/30）午後には、『「地理総合」に向けたGIS教育オンラインプラットフォーム』と題したシンポジウムも開催されます。

http://www.gisa-japan.org/file/2021_A3-4_2.pdf

併せてご参加いただけますと幸いです。

以上